

THE RECORD

2005.01 No.542

■ 新年のご挨拶

日本レコード協会 会長 佐藤 修

- 「還流防止措置に係る国外頒布目的商業用レコードの表示に関する運用基準」の制定・発行について



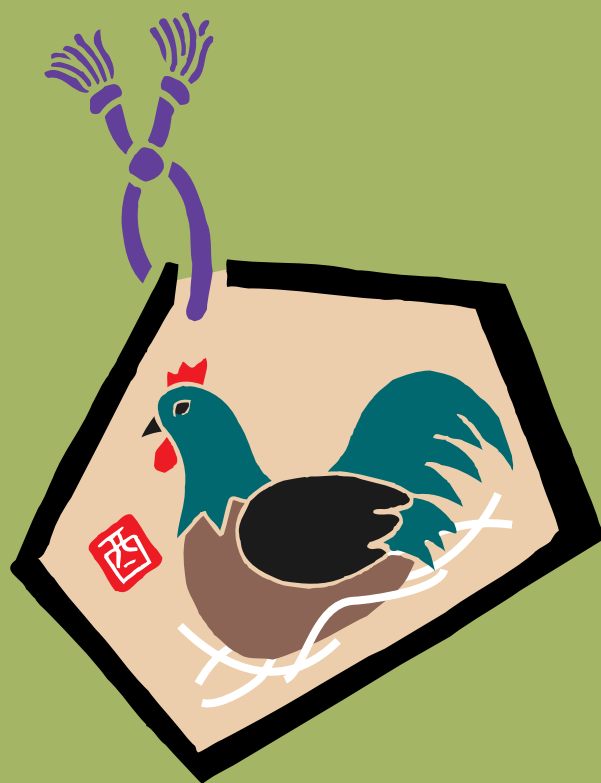
社団法人 日本レコード協会

RIA
Recording Industry Association of Japan

表紙の楽器

三線

その起源は古代エジプトのネフェル（胴に皮を張り、棹に三本の弦を張った楽器）にまで遡ることができる。その後ペルシャから中国に伝わり、そこで銅に蛇皮を張った「三弦」となった。これが1400年頃、「明」の冊封使によって当時の琉球王国に持ち込まれたのである。琉球の楽人「赤犬子」(アカインコ)はこの楽器を改良して多くの曲をつくり、三線を使用した琉球音楽のもとを築いた。16世紀には貿易船を通じて本土に輸入され三味線へと発展していく。



Contents

新年のご挨拶	2
「還流防止措置に係る国外頒布目的商業用レコードの表示に関する運用基準」の制定・発行について	3
Topics & Information	5
Monthly Production Report	8
今月の数字	9
Gold Album+...認定.....	10



新年のご挨拶

日本レコード協会 会長
佐藤 修

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年1年間を振り返りますと、レコード産業にとって最も特筆すべきは、著作権法の一部改正により、「商業用レコードの還流防止措置」の導入が決まったことです。この措置は、当協会だけではなく、音楽関係団体が一致して導入を求めていたものですが、コンテンツビジネスの振興とアジアとの文化交流促進のために、この法律の成立についてご支援くださった国会の諸先生方、文化庁、経済産業省および知的財産戦略推進事務局等、多くの方々のお力添えなくしては、実現が叶わなかったものです。

この措置の導入を機に、日本のレコード会社は、積極的な海外展開に取り組み、アジア各国との音楽文化交流をより一層図ってまいります。

さて、今年の音楽市場を概観しますと、着うた市場の急成長や、音楽DVDの充実などますます音楽の楽しみ方の多様化が進むとともに、厳しい状況にあったオーディオレコードの売り上げについても一部に下げ止まりの兆しが見えてきました。長期間にわたる低迷はさまざまな要因によるといわれていますが、その大きな要因として、CD-R等へのコピーや不正アップロードの問題があるのは間違いなく考えています。

その対策として、音楽関係団体とともに、継続的に行ってきた「Respect Our Musicキャンペーン」をはじめとする著作権意識や知識の普及啓発活動を、昨年はインターネットサービスプロバイダーの団体等の協力も得て、幅広く展開してまいりました。

他方、インターネット上で違法に音楽ファイルを公開している個人に対してインスタントメッセージにより直接注意喚起を促すとともに、一部の悪質と判断されるユーザーについては、損害賠償請求を視野に入れ、インターネットサービスプロバイダーに対し、住所、氏名等の情報を開示するよう手続きを開始しました。

このように、レコード産業にとっての阻害要因に対して、当協会は積極的に取り組んでいますが、これらの対策は世界のレコード産業界共通の課題でもあり、今年は特にIFPI(国際レコード産業界連盟)と連携し強力で推進してまいります。

また、著作権に関する課題としては、「私的録音補償金制度の見直し」と「レコードの保護期間の延長」に重点を置き、音楽関係団体と力を合わせて、関係者はもとより広く国民の理解が得られるよう努力してまいります。

当協会は、昨年新たに入会した18社を加え、現在42の会員社で構成されていますが、レコード製作者の団体として、今年も産業基盤の強化・健全化を図り、音楽文化の発展と産業の振興を目指してまいり所存です。

今年も皆様にとって、幸多い年となることを祈念申し上げますとともに、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

「還流防止措置に係る国外頒布目的商業用レコードの表示に関する運用基準」の制定・発行について

当協会は、12月6日付で、「還流防止措置に係る国外頒布目的商業用レコードの表示に関する運用基準」を制定・発行しましたので、その概要をご紹介します。なお、当協会のホームページ (<http://www.riaj.or.jp>) からこの運用基準のPDFファイルをダウンロードできます。

2004年第159回通常国会において、「商業用レコードの還流防止措置」を導入する著作権法の改正法が全会一致で可決、成立しました。

この改正法は、近年、台湾、中国、韓国および香港等の地域における日本音楽に対する需要の高まりを受け、レコード会社各社がアジア地域のレコード会社に対し積極的に原盤のライセンスをするにあたり、当該地域の物価水準に応じて製造、販売されるライセンスレコードが日本国内に還流し、国内で販売されている同一のレコードの販売を阻害することによって著作権者および著作隣接権者(以下「権利者」)が経済的な不利益を受けることを防止し、我が国音楽文化の海外への積極的な普及促進を図ることを立法趣旨とするものです。

著作物の輸入を何らかの形で権利者の意思に係らしめる制度を持つ国は少なくありませんが、日本の還流防止措置は、著作物全般ではなく、技術的に還流防止が困難であることなどから、還流の実態がある「商業用レコード」のみを対象としていることのほか、権利者の利益と消費者の利益とのバランスを考慮し、当該商業用レコードの輸入行為等を権利侵害とみなす場合(還流防止措置の対象となる場合)を、次の要件を満たす場合に限定している点を特徴としています。

1. 専ら国外のみにおいて頒布することを目的とする商業用レコード(国外頒布目的商業用レコード)であって、日本で発行されている商業用レコードと同一のものであること

2. 輸入者等が1.の事実を知っていること
3. 日本で頒布する目的での輸入等であること
4. 還流により、権利者の利益が不当に害されること
5. 日本で最初に発行されてから政令で定める期間(4年間)を経過していない商業用レコードであること(改正法施行の際現に発行されているレコードについては、改正法施行の日から政令で定める期間(4年間)を経過していない商業用レコードであること)

上記2.にあるように、輸入者等が、当該商業用レコードが1.に該当することを知っていなければ還流防止措置の対象にならないこと、また、還流防止措置は、海外において適法に製造された商業用レコードを輸入する行為等を、一定の要件を満たした場合に限定して「著作権等の侵害とみなす」ものであることなどから、1.の事実が明確に認知できる必要があります。

この「運用基準」は、そのような観点から、当該商業用レコードが上記1.に該当することを輸入者等に認知させるとともに、税関等において円滑な運用が行われるための適切な表示事項および表示方法を推奨することを目的に制定するものです。

なお、この運用基準は、表示を付する時点で判断可能である1.、4.および5.の要件を満たし、還流防止措置の適用対象となり得るものであって、当該適用を受けようとするもののみが対象となります。

この「運用基準」は、各社の自由な表示を制限するものではありませんが、還流防止措置の適用を求めるに当たっては、上記のような目的に鑑み、当該レコードを発行する者は、少なくともこの「運用基準」を満たす表示を

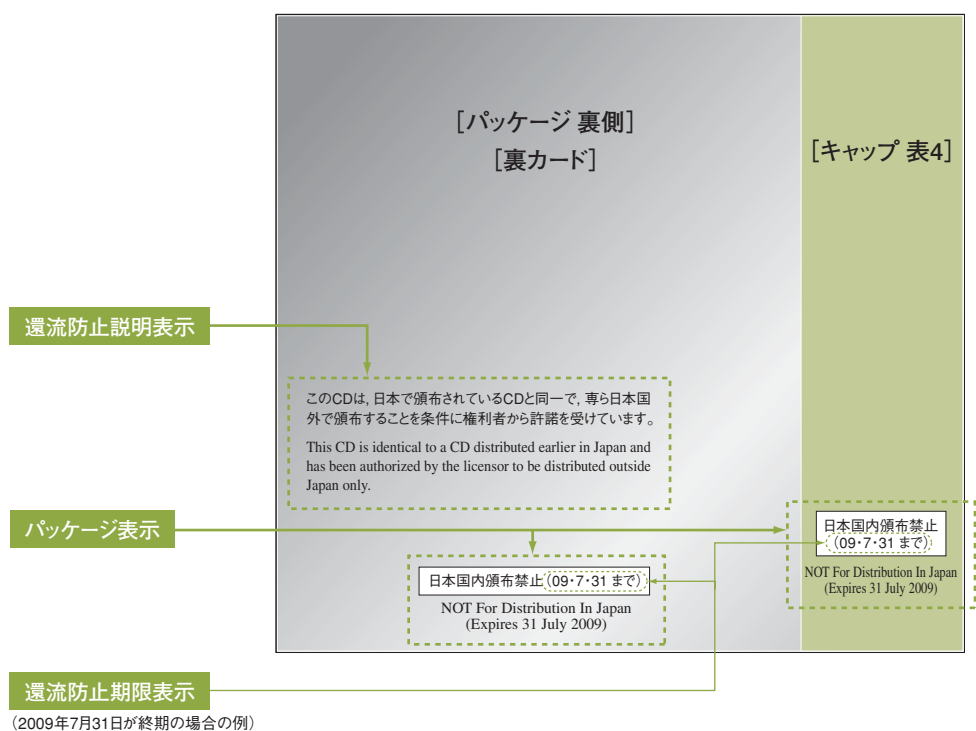
付することが望まれます。

この「運用基準」は、2005年1月以降の法律施行後の税関等の運用状況を踏まえ、今後も適宜改定を図る予定です。

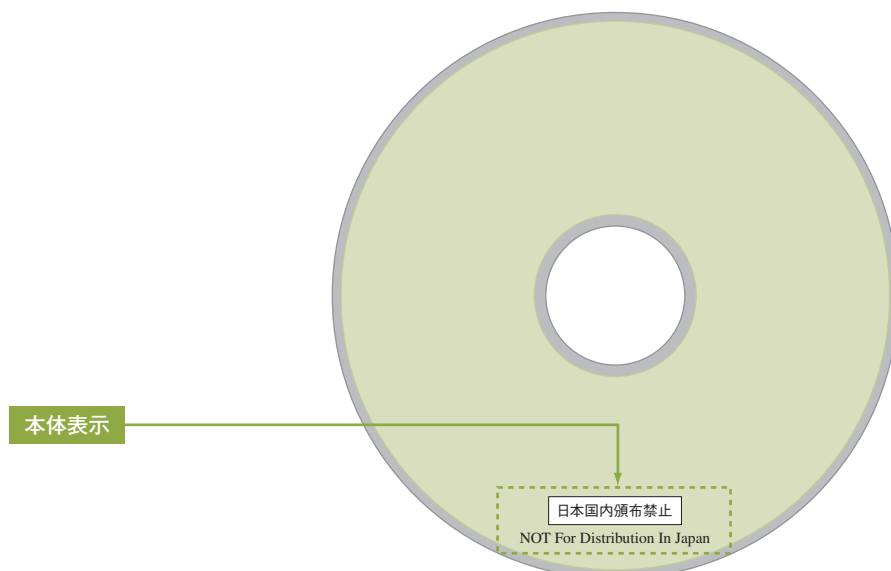


還流防止措置に係る国外頒布目的商業用レコードの表示例

(1) パッケージ裏側の表示例



(2) レーベル面の表示例



Topics & Information

還流防止措置の運用等に関する説明会を実施



説明会の様子

12月13日、東京都港区の青山メトロ会館において、還流防止措置の運用等に関する説明会を開催しました。

この説明会は当協会会員各社を対象に、「国外頒布目的商業用レコードに係る還流防止措置」（著作権法第113条（新）第5項）の運用等の周知徹底を図り行われたものです。

文化庁長官官房著作権課より還流防止措置を行使するに当たっての実務上の留意事項等について説明が行われた後、当協会事務局が「還流防止措置に係る国外頒布目的商業用レコードの表示に関する運用基準」および対象レコードリストの公開方法の案について説明を行いました。続いて財務省東京税関業務部および同省関税局業務課より、還流防止措置に係る輸入差止申立について説明がなされました。

なお、本説明会に講師としてご参加いただいた方々は次の通りです。

■ 文化庁

長官官房著作権課	著作権調査官	山口 顕
	法規係長	森下 平

■ 財務省

関税局業務課	訟務係長	藤原 浩高
	財務事務官	牧野 宏司
東京税関業務部	総括知的財産調査官	手塚 親生
	知的財産調査官	三島 憲二郎
	知的財産調査官	今岡 浩
	上席調査官	宿野 賢佳 (敬称略)

会員社各社が2回目の不正アップロードユーザーの情報開示を請求

12月7日、当協会会員社であるビクターエンタテインメント(株)、ユニバーサルミュージック(株)、東芝EMI(株)、(株)ワーナーミュージック・ジャパン、エイベックス(株)、(株)ソニー・ミュージックレコーズおよび(株)デフスターレコーズの7社は、ファイル交換ソフトを利用してインターネット上で音楽ファイルを不正にアップロードしている18名の氏名等の開示を求める請求を、インターネットへの接続を提供するプロバイダー5社に対して行いました。

この結果、11月15日に実施した情報開示請求と合わせ、これまでに30名の発信者情報開示請求をプロバイダー10社に対して行ったこととなります。

第42回福祉・厚生施設へのレコード寄贈を実施

当協会では、恒例となりました全国の福祉・厚生施設へのレコード寄贈を、昨年度に引き続き12月下旬のクリスマス時期を中心に実施しました。

今年で42回目となるレコード寄贈は、福祉・厚生、療養施設(児童福祉施設、老人ホーム等)の人々が音楽によって明るい生活を送られることを願って昭和38年から行っているもので、過去41年間に総計で約93万枚・巻の音楽ソフトを全国の各施設に贈呈しています。

本年度は、社会福祉法人全国社会福祉協議会の協力の下、全国400の施設に音楽CD・カセットテープ等9,000枚・巻を寄贈しました。

sarah助成による啓発キャンペーンをスタート

当協会を含む音楽関係6団体は、(社)私的録音補償金管理協会(sarah)の助成を受けて、毎年著作権啓発キャンペーンを行っています。これは、若い世代をターゲットに、新聞、雑誌、インターネット等を通じて、ファイル交

換ソフトを利用したインターネット上での違法な音楽利用の防止を訴えるものです。

今回は(社)日本インターネットプロバイダー協会も参画し、1月下旬から広告展開をする予定です。

第11回日本プロ音楽録音賞 授賞式開催

12月6日、東京都港区の虎ノ門パストラルにおいて、(社)日本オーディオ協会、(社)日本音楽スタジオ協会、日本ミキサー協会および当協会主催による第11回日本プロ音楽録音賞授賞式を開催しました。

この賞は、音楽とオーディオ文化の向上に努める録音エンジニアの感性と技術にスポットライトを当て、音楽制作および録音に対する一般ユーザーの認識を高めるとともに、音楽とオーディオ産業のソフト分野における録音エンジニアの一層の技術の向上、ならびに地位の確立を目指すものです。

第11回目を迎えた今回は、62作品の応募があり、審査委員会の厳正な審査の結果、3つの部門から合計8作品の優秀作が選ばれました。当日は優秀作品の表彰と、それらの中から各部門の最優秀作品とそのエンジニアが発表され、併せて表彰が行われました。

当協会からは常務理事の田中純一がプレゼンターとして参加し、「部門A CDパッケージメディア(ジャンルを問わずCDパッケージとして発売された作品)」の優秀作品ならびに最優秀作品の表彰を行いました。



授賞式の様子

最優秀賞受賞作品

■ 部門A「CDパッケージメディア」



「あの頃、マリー・ローランサン2004」
(AICL1533)より

「あの頃、マリー・ローランサン」
矢野顕子、坂本龍一、高橋幸宏ほか

発売元：(株)ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ
メイン・エンジニア：吉田 保

((株)サウンド・マジック・コーポレーション)

■ 部門B「ニューパッケージメディア」



DVD-Audio「MASTERPIECE」
(VIAJ-60015)より

「THE SECOND STAR TO THE
RIGHT」
FRIED PRIDE

発売元：ビクターエンタテインメント(株)
メイン・エンジニア：田村雅典(フリーランス)

■ 部門C「放送メディア」

題名のない音楽会21

「魅惑のトランペット～ナカリヤコフの超絶技巧」

トランペット：セルゲイ・ナカリヤコフ

指揮：金聖響、神奈川フィルハーモニー管弦楽団

テレビ朝日 HDTV 2004年6月20日放送

チーフ・エンジニア：桂川英樹((株)テレビ朝日)



第19回日本ゴールドディスク大賞授賞式日程決定

当協会は、今年で19回目となる日本ゴールドディスク大賞の授賞式を、3月10日(木) 19時より、東京都渋谷区のNHKホールにおいて開催します。

第19回
日本ゴールドディスク大賞



第2回「廃盤CD大ディスカウントフェア レコードファン感謝祭2004」開催

当協会加盟26社は、昨年の秋の開催に続いて、1月27日(木)～2月9日(水)の2週間、インターネットを利用した通信販売による「廃盤CD大ディスカウントフェア レコードファン感謝祭2004」を開催します。第1回の期間中は大変多くの方にアクセスいただき、ご好評を頂きました。なお、第2回の詳細についてはホームページ (<http://fair.jmd.ne.jp>) をご覧ください。



ホームページ画面

● 渡辺三郎氏ご逝去

元ビクター音楽産業(現ビクターエンタテインメント(株))社長の渡辺三郎氏が、12月15日ご逝去されました(享年83歳)。同氏は1978年から81年にわたり、当協会第7代会長も務められました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

● 2004年11月会議メモ

- 12・7 法制委員会
- 12・8 マーケティング委員会
- 12・10 レコード倫理審査会
- 12・17 執行委員会

Monthly Production Report

2004年11月度レコード生産実績

11月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)生産実績は、数量で前年同月比104%の3,887万枚・巻、金額で前年同月比105%の483億円と前年同月を上回りました。このうち、オーディオレコードは、邦楽がシングル、アルバムとも好調で、数量で前年同月比115%の2,608万枚・巻、金額で前年同月比118%の319億円と大きく伸長しました。またこの結果、音楽ソフトの1～11月度の累計は、数量で前年同期比97%の3億1,379万枚・巻、金額で前年同期比95%の3,849億円、オーディオレコードの累計は、数量で前年同期比96%の2億8,508万枚・巻、金額で前年同期比95%の3,399億円となっています。

● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

			11月実績						2004年(1月～11月)累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
シン	8cmCD	邦	794	2	51%	63	0	30%	13,426	5	81%	1,203	0	43%
		洋	271	1	67753%	21	0	50566%	1,763	1	288%	160	0	335%
		計	1,065	3	69%	84	0	39%	15,189	5	89%	1,362	0	48%
ン	12cmCD	邦	7,293	21	125%	5,480	13	122%	60,795	21	98%	46,520	14	98%
		洋	424	1	353%	112	0	110%	1,097	0	108%	665	0	78%
		計	7,717	22	129%	5,592	13	121%	61,893	22	98%	47,185	14	98%
ル	小計	邦	8,087	23	109%	5,543	13	117%	74,221	26	94%	47,722	14	95%
		洋	695	2	577%	133	0	130%	2,860	1	176%	825	0	92%
		計	8,781	25	117%	5,675	13	118%	77,081	27	96%	48,547	14	95%
12cmCD アルバム	邦	17,262	50	120%	25,735	61	120%	128,962	45	96%	187,996	55	95%	
	洋	7,984	23	84%	10,413	24	84%	69,378	24	100%	95,271	28	97%	
	計	25,245	73	106%	36,147	85	107%	198,340	70	97%	283,267	83	95%	
CD 合計	邦	25,348	73	116%	31,278	74	119%	203,183	71	95%	235,718	69	95%	
	洋	8,679	25	90%	10,545	25	84%	72,239	25	101%	96,095	28	97%	
	計	34,027	98	108%	41,823	98	108%	275,421	97	97%	331,813	98	95%	
アナログ ディスク	邦	24	0	114%	28	0	144%	625	0	156%	280	0	64%	
	洋	7	0	70%	7	0	45%	237	0	288%	186	0	193%	
	計	30	0	100%	35	0	99%	861	0	179%	465	0	87%	
カセット テープ	邦	653	2	70%	614	1	66%	8,295	3	77%	6,877	2	76%	
	洋	4	0	80%	3	0	47%	17	0	62%	14	0	59%	
	計	657	2	70%	617	1	66%	8,312	3	77%	6,891	2	76%	
その他	邦	52	0	184%	22	0	70%	257	0	61%	266	0	52%	
	洋	13	0	67%	25	0	64%	232	0	65%	447	0	77%	
	計	65	0	136%	47	0	67%	489	0	63%	714	0	65%	
合計	邦	26,076	75	115%	31,942	75	118%	212,358	74	94%	243,141	72	94%	
	洋	8,703	25	90%	10,580	25	84%	72,725	26	101%	96,742	28	97%	
	計	34,779	100	107%	42,523	100	107%	285,083	100	96%	339,883	100	95%	

● 音楽ビデオ

	11月実績						2004年(1月～11月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	4,013	98	86%	5,641	98	95%	27,618	96	115%	43,149	96	105%
LD・その他	46	1	53%	66	1	46%	659	2	72%	993	2	61%
テープ	29	1	36%	28	0	14%	430	1	34%	916	2	26%
合計	4,087	100	84%	5,735	100	91%	28,708	100	110%	45,059	100	98%

● 音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

	11月実績						2004年(1月～11月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	34,779	89	107%	42,523	88	107%	285,083	91	96%	339,883	88	95%
音楽ビデオ	4,087	11	84%	5,735	12	91%	28,708	9	110%	45,059	12	98%
合計	38,866	100	104%	48,257	100	105%	313,791	100	97%	384,942	100	95%

● ビデオ(含音楽ビデオ)

	11月実績						2004年(1月～11月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	14,712	97	116%	15,694	91	132%	121,470	95	129%	153,412	87	129%
LD・その他	46	0	63%	66	0	53%	706	1	59%	1,029	1	56%
テープ	396	3	75%	1,523	9	96%	5,596	4	65%	21,756	12	69%
合計	15,154	100	114%	17,283	100	127%	127,772	100	123%	176,197	100	116%

● オーディオ/ビデオ合計

	11月実績						2004年(1月～11月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	34,779	70	107%	42,523	71	107%	285,083	69	96%	339,883	66	95%
ビデオ	15,154	30	114%	17,283	29	127%	127,772	31	123%	176,197	34	116%
合計	49,933	100	109%	59,805	100	112%	412,856	100	103%	516,080	100	101%

備考 1. 上記実績は、会員会社「42社」の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
※オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

2004年レコード生産の概況（推定）

2004年（1～12月）の当協会加盟42社のオーディオレコード、ビデオの総生産数量および金額の推定値がまとまりました。2004年の音楽ソフト（オーディオレコードと音楽ビデオの合計）の生産は、数量が前年比97%の3億5,060万枚・巻、金額は前年比95%の4,341億円と見込まれます。

音楽ソフトのうち、オーディオレコードは数量で前年比96%の3億1,513万枚・巻、金額で前年比95%の3,788億円、音楽ビデオは数量は前年比110%の3,547万枚・巻、金額は前年比98%の553億円と見込まれます。

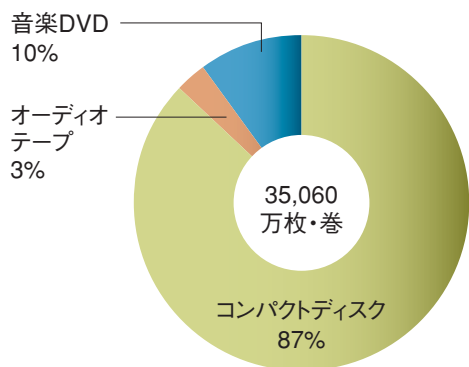
●2004年1～12月レコード総生産高（推定）

（数量：万枚・巻／金額：億円）

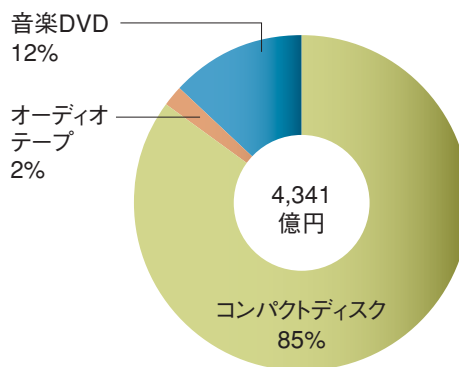
種類	数量	構成比(%)	前年比(%)	金額	構成比(%)	前年比(%)
オーディオレコード	8cmCD	1,850	4	15	0	48
	12cmCDシングル	6,580	14	500	9	97
	12cmCDアルバム	22,030	48	3,184	55	95
	CD計	30,460	66	3,699	64	95
	アナログディスク	103	0	6	0	89
	カセットテープ	900	2	75	1	76
その他	50	0	62	8	0	69
オーディオレコード 合計	31,513	68	96	3,788	65	95
音楽ビデオ	DVD	3,425	7	532	9	105
	LD・その他	71	0	11	0	62
	テープ	51	0	10	0	24
	合計	3,547	8	553	10	98
音楽ソフト（オーディオ／音楽ビデオ 合計）	35,060	76	97	4,341	75	95
ビデオ（含音楽ビデオ）	DVD	14,100	30	1,780	31	129
	LD・その他	75	0	11	0	55
	テープ	610	1	236	4	68
	合計	14,785	32	2,027	35	116
オーディオ／ビデオ 合計	46,298	100	103	5,815	100	101

備考 1. 協会加盟社以外から加盟会社への委託製造分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

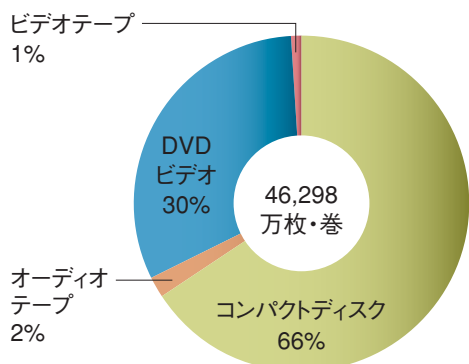
●2004年1～12月音楽ソフト生産数量比率（推定）



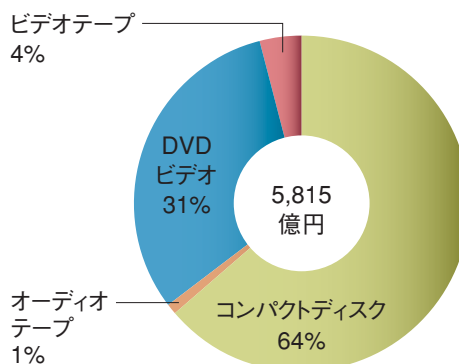
●2004年1～12月音楽ソフト生産金額比率（推定）



●2004年1～12月レコード生産数量比率（推定）



●2004年1～12月レコード生産金額比率（推定）



Gold Album +... 認定

2004年11月度

11月度ゴールドアルバム等認定では、平井 堅「SENTIMENTALovers」がミリオンを、シングルではORANGE RANGE「花」、平原綾香「Jupiter」がトリプル・プラチナを達成しました。

邦楽

アルバム

● ミリオン

SENTIMENTALovers	平井 堅	2004.11.24	DF
------------------	------	------------	----

● ダブル・プラチナ

ソルファ	ASIAN KUNG-FU GENERATION	2004.10.20	KS
LOVE JAM	大塚 愛	2004.11.17	AVT

● プラチナ

G10	ゴスペラーズ	2004.11.17	KS
愛と欲望の日々/LONELY WOMAN	サザンオールスターズ	2004.11.24	V
教育	東京事変	2004.11.25	TO
MASTERPIECE	RIP SLYME	2004.11.03	WJ

● ゴールド

5X5 THE BEST SELECTION OF 2002←2004	嵐	2004.11.10	JA
死無愚流 呼麗苦衝音+3	氣志團	2004.11.25	TO
新人クレバ	KREVA	2004.11.03	PC
MUSIC MAN SHIP	コブクロ	2004.11.03	WJ
TIME	スガシカオ	2004.11.17	BMG
長瀬 剛 ALL NIGHT LIVE IN 桜島 04.8.21	長瀬 剛	2004.11.20	FL
The Voice	平原綾香	2004.11.25	DRM
Synchronicity	BENNIE K	2004.11.04	FL
VIVA! 6 x 7	松任谷由実	2004.11.10	TO
YOSUI TRIBUTE	V.A.	2004.11.10	FL

シングル

● トリプル・プラチナ

花	ORANGE RANGE	2004.10.20	SR
Jupiter	平原綾香	2003.12.17	DRM

● プラチナ

チキンライス	浜田雅功と横原敬之	2004.11.17	YR
--------	-----------	------------	----

● ゴールド

君に逢いたくて	Gackt	2004.10.27	CR
たまには泣いてもいいですか?	時給800円	2004.11.25	YR
正夢	スピッツ	2004.11.10	UM
愛想曲(セレナーデ)	タッキー&翼	2004.11.03	AVT
Reason	玉置成実	2004.11.10	SR
男の夜明け	天童よしみ	2004.07.14	TE
ギター待のうた	波田陽区	2004.11.17	PC
サンライズ	BENNIE K	2004.09.22	FL
黄昏ロマンス	ボルノグラフィティ	2004.11.10	SE
Last Christmas/Wake Me Up GO! GO!	Yuji Oda with Butch Walker	2004.11.03	SI
心絵	ロードオブメジャー	2004.11.17	AVT

ビデオ

● ゴールド

EXILE LIVE TOUR 2004 'EXILE ENTERTAINMENT'	EXILE	2004.09.29	AVT
--	-------	------------	-----

洋楽

アルバム

● ダブル・プラチナ

グレイテスト・ヒッツ:マイ・プリログティヴ	ブリトニー・スピアーズ	2004.11.04	BMG
-----------------------	-------------	------------	-----

● プラチナ

アンコール	エミネム	2004.11.15	UM
-------	------	------------	----

● ゴールド

チャック	SUM 41	2004.09.29	UM
デスティニー・フルフィールド	DESTINY'S CHILD	2004.11.10	SI
ハウ・トゥー・ディスマントル・アン・アートミック・ボム	U2	2004.11.17	UM

※AI:ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ/AVT:エイベックス/BG:ビーグラムレコーズ/BM:パーミオンレコード/BMG:BMGファンハウス/C:コロムビアミュージックエンタテインメント/CR:日本クラウン/DF:デフスターレコーズ/DRM:ドリーミュージック/EP:アップフロントワークス(セティマレーベル)/ES:EPICレコードジャパン/FL:フォーライフミュージックエンタテイメント/GN:ジェネオンエンタテインメント/GZ:ギザ/JA:ジェイ・ストーム/JE:ジャニーズ・エンタテインメント/JK:ユナイテッド・アジアエンターテイメント/K:キングレコード/KS:キューンレコード/MH:ソニー・ミュージックダイレクト/ON:ビーヴィジョン/PAR:プライエイド・レコーズ/PC:ポニーキャニオン/PK:ピッコロタウン/PY:プラチア・エンタテインメント/PZ:ピザ・オブ・デス・レコーズ/RR:ロードランナー・ジャパン/SE:エスエムイーレコーズ/SI:ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル/SN:SENHA & CO./SR:ソニー・ミュージックレコーズ/SV:アニプレックス/TE:テイチクエンタテインメント/TF:トイズファクトリー/TJC:徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO:東芝EMI/UM:ユニバーサルミュージック/V:ビクターエンタテインメント/WJ:ワーナーミュージック・ジャパン/XL:アンリミテッドグループ/YR:アール・アンド・シー・ジャパン



SENTIMENTALovers/平井 堅



花/ORANGE RANGE



Jupiter/平原綾香



ソルファ/ASIAN KUNG-FU GENERATION



LOVE JAM/大塚 愛



グレイテスト・ヒッツ:マイ・プリログティヴ/ブリトニー・スピアーズ

※ダブル・プラチナ(50万枚)以上の認定を受けた作品のジャケット写真を紹介します。

協会からのお知らせ

Topics & Informationでご紹介した通り、(社)私的録音補償金管理協会(sarah)の助成を受け、音楽関係6団体等による著作権啓発キャンペーンが1月下旬からスタートします。

Respect Our Music

THE RECORD No.542 2005年1月号
社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 佐藤 修
編集人 田辺 攻
発行日 2005年1月10日
発行 社団法人 日本レコード協会
〒107-0061 東京都港区北青山2-12-16 北青山吉川ビル11F
TEL. 03-6406-0510(代) FAX. 03-6406-0520(代)
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフビーアイ・コミュニケーションズ

編集後記

新年明けましておめでとうございます。本年も「THE RECORD」をよろしく願い申し上げます。また、送付先のご変更等ございましたら、現在の送付先および新しい送付先をご記入の上、FAXにて広報部(FAX: 03-6406-0522)までご連絡ください。

(R.O)



古紙配合率100%再生紙を使用しています